

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区
木更津東ロータリークラブ

2021-22 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市朝日 1 丁目 2-29 シグママンション朝日 B 棟 105 号 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2021-22 年度国際ロータリーテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために SERVE TO CHANGE LIVES

第 26 回例会 NO. 2547 2022 年 2 月 2 日

【大里光夫会員のペット】



【うたちゃん】

【ルカちゃん】

■司会進行

加藤智生 SAA



◆点鐘 12時30分
渡邊慎司会長

◆国歌斉唱 (黙唱)

◆Rソング斉唱 (黙唱)
「奉仕の理想」

◆出席 会員 42名 ◆出席率 75.67%
出席 28名 ◆前々回出席率 74.35%
欠席 14名 ◆修正後出席率 82.05%

◆欠席者【敬称略】

石井文子・叶川博章・嶋津正和・鈴木秀幸・
趙 亜南・中野麻美・林田謙治・渡邊元貴・
宮寺順子

◆メイクアップ

・1/29 RID2790 補助金管理セミナー
堀内正人・大里光夫・渡邊慎司

・2/2 第8回定例理事会

渡邊慎司・吉田和義・大里光夫・
林幸二郎・加藤智生・石田 亨・
松岡邦佳・堀内正人・佐藤丈夫・
倉島和弘

◆四つのテスト (黙唱) 加藤智生 SAA



ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 慎 司
幹 事 吉 田 和 義
編 集 大 岩 も え

国際ロータリー第 2790 地区

RI 会 長 シェカール・メータ
地区ガバナー 梶 原 等
ガバナー補佐 鈴 木 荘 一

◆誕生日祝い
林孝二郎 (1/31)



◆結婚記念日祝い
内田重 (1/27)・大澤藤満 (2/1)

■会長挨拶・報告

渡邊慎司会長



皆さんこんにちは、まん延防止措置が発令されて2週間が経過しますが、未だに先が見えない状況です。会員の皆さんの周りでは感染者や濃厚接触者が始まっているかもしれません。心配な方はリモートでの参加をして頂きたいと思います。

2月のテーマは「平和と紛争予防／紛争可決」となっていますが、いま世界が注目しているのはロシアのウクライナ侵攻ではないでしょうか。国力が低下してくると他国が攻めて来るのではと、心配になり他国への侵攻を行ってしまうという見方もあります。北朝鮮がミサイルの

発射実験を行っているのもそうした考えがあるからかもしれません。

紛争は宗教の違いや、人種や種族、宗派など様々な対立から起こります。また、政治不信による国内情勢の悪化なども数多くあります。ミャンマーにおける内戦、また10年以上も続いているシリアの内戦や、イエメンの内戦、ソマリア南部における内戦など数多くあります。中東などは第二次世界大戦後から紛争が無かった時期は無いのではないのでしょうか。

そして紛争地域では多くの人々がテロの犠牲になり、虐殺も少なくありません。家や国を追われ難民となる人々は、何百万・何千万人にも上ります。国連難民高等弁務官事務所によると、2020年時点で8,240万人の人々が家や故郷を追われているそうです。難民の出身国として、シリア・ベネズエラ・アフガニスタン・南スーダン・ミャンマーの順になっています。

ここで日本の学生が始めた取組についてご紹介します。ソマリアの現状を知り、ソマリア人学生らと学生NGO「日本ソマリア青年機構」を設立して、ソマリア人ギャングの脱過激化・社会復帰支援事業を立ち上げました。過激派の構成員の中には自分の意思ではなく、占領している組織や兄弟、友人などからの半強制的な形での参加を余儀なくされている人も多くいます。組織を抜けた若者に再度組織に戻ることを無いよう、社会復帰の援助をしています。それは、脱過激化・積極的社会復帰を果たせる道を築くことで、自主的な投降を増やすことで新たな加入者を生み出さないことで、テロ組織の人的勢力を削ぐ取組みです。

現在はNPO法人アクセプト・インターナショナルへ組織変更を行い、ソマリア・イエメン・ケニア・インドネシア、そして日本で活動しています。団体の代表理事をしている永井さんは、SDGsにおいて地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っているが、過激化している人達も取り残さないようにしなければならいと語っています。

紛争地域での取り組みは大変な苦労があると思いますが、彼はテロと戦っているのではなく、テロ撲滅の取組みをしている所が大変素晴らしい取組みだと感じました。

国際ロータリーにおける重点活動の一つとして平和の推進があります。平和の推進におけるロータリーの4つの役割として、実践者、教育者、調停者、提唱者を掲げています。貧困からの脱却、子供たちへの教育の機会、人道的停戦の交渉など、様々な活動が平和な世界を築く一歩になります。

遠く離れた国々での現状を知ることは大変難しいですが、ロータリーにおいてもその他の団体においても、自分達の活動が平和への道となる事を信じて活動しています。日本にいる私たちにできることは活動を広めたり、寄付をすることです。まずは1日100円でもいいので活動を支援したい団体に寄付をしてみてください。

■幹事報告

吉田和義幹事



1. 幹事報告

- 1) 本日例会終了後、第8回定例理事会が開催されますので理事の出席をお願いいたします。
- 2) 2021-22年度RLI推進委員会より「RLI10周年を祝う集い」開催延期のお知らせが届いておりますので回覧いたします。
- 3) 2021-22年度ガバナー事務所より「君津RC創立50周年式典」延期のお知らせが届いておりますので回覧いたします。
- 4) 2021-22年度ガバナー事務所より「トンガ王国海底火山噴火による災害に関して現在の状況のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。
- 5) 2021-22年度ガバナー事務所より「奨学生の世話クラブカウンセラーのお引き受けについてのお願い」が届いておりますので回覧いたします。
- 6) 2021-22年度青少年奉仕統括委員会より「第45回RYLAセミナー延期のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。

2. 他クラブからのお知らせ

- 1) 木更津RCより「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。

3. その他のお知らせ

なし

4. 回覧

- ・2021-22年度RLI推進委員会より「RLI10周年を祝う集い」開催延期のお知らせ
- ・2021-22年度ガバナー事務所より「君津RC創立50周年式典」延期のお知らせ
- ・2021-22年度ガバナー事務所より「トンガ王国海底火山噴火による災害に関して現在の状況のお知らせ」
- ・2021-22年度ガバナー事務所より「奨学生の世話クラブカウンセラーのお引き受けについてのお願い」
- ・木更津RCより「例会変更のお知らせ」

～ロータリーについて知ろう～

第21回目

2024年までのロータリーの行動計画をご存知ですか。「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」の4つを掲げています。この行動計画は国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項を定めたものです。

行動計画を支援するためにクラブでできることは、新しい戦略の優先事項と目的に沿い、それを反映した独自の戦略計画を立てることとされています。

当クラブでも戦略計画を策定しました。今後は戦力計画について会員全員が参加して実行していくことです。皆様のご協力をお願いします。

■委員会報告

◆雑誌・姉妹クラブ委員会 阪中昌司委員長
【ロータリーの友 2月号の紹介】



【横組み5ページ】

R I 会長メッセージ

今年度の最初に、少なくとも1回、実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントを計画し、開催するよう全クラブに呼びかけました。その中で、私の心をつかんだ一例をご紹介します。

インドでは糖尿病に罹っている人は7,400万人とされていますが、約半数の人が診断を受けない状況ということで、ロータリーとインド糖尿病研究協会が協力して、世界心臓デーである9月29日に全国的な血糖値の無料検査を実施し、大きな予防策となる取組になりました。

2月23日はロータリーの創立記念日です。ロータリー奉仕デーイベントを実施し、重点分野におけるロータリーの活動を発表しましょう。

〔横組み7ページ〕

特集 平和構築と紛争予防月間青少年交換は未来平和へのギフト

日本の青少年交換がどのようなきっかけで始められたのか記載されています。オーストラリアとの間で、1962年に日本から9名を派遣し、翌1963年にオーストラリアから1名を受け入れ日豪の青少年交換の形が整った経緯が記されています。

横組み11ページからは、青少年交換学生が考える平和ということで、6名の方のコメントが記されています。健康が公平に扱われること、平和のために頭を使う必要がないこと、「いつも通り」が続くこと、食べることに苦しまなくなること、等様々な平和に対する思いが綴られています。

〔横組み14ページ〕

第50回ロータリー研究会のレポートが掲載されています。

2年ぶりの対面での開催になりましたが、勝浦RCの漆原パストガバナーもパネリストとして参加されています。

〔縦組み4ページ〕

特別講演要旨 武井武雄の世界イルフ童画館館長 山岸吉郎氏

武井武雄は、長野県岡谷出身の画家で童画の命名者、イルフは「古い」を反対に読んで、新しいという意味を込めた武井画伯の造語とのことです。

絵に興味のある方は是非お読みください。武井画伯の作品は、平和の得難さを訴える作品が多いとのことで、機会があればイルフ美術館にも行ってみたいと思いました。

〔縦組み13ページ〕

卓話の泉 パワハラに注意

2020年に大企業を対象にパワハラ防止法が施行されましたが、今年4月からは、中小企業にも適用されます。職場でのパワハラ防止のための雇用管理上必要な措置を講じることが企業に義務化されますが、幾つかポイントが記されていますので参考になります。

〔縦組み14ページ〕

富津中央RCの会員の俳句が紹介されています。

◆ニコニコボックス報告・出席報告 親睦出席委員会 田口理紗委員長



◇大澤藤満会員

倚しくも本日は2022.2.2.ニコニコ夫婦の日!! 倅達、娘達も独立し老夫婦には今さら熱き話もなく、ロックタウンの様な毎日に、久々花束を囲み団欒を過ごしました。花は生活の華です。ありがとうございます。

◇林幸二郎会員

76才となりました。体重もコロナのおかげで76kgを超えました。これからは年齢が上がっても体重は75kgを保てるようにウォーキングなど頑張りたいと思っております。

◇内田重会員

皆様こんにちは。結婚記念日祝いのきれいな花を頂きありがとうございました。

■例会アワー

国際奉仕ロータリー財団委員会
倉島和弘委員長



国際奉仕ロータリー財団委員会委員長の倉島です。本日の卓話は当クラブ会員であり、第2790地区補助金プロジェクト委員会、委員長でもある「堀内正人会員」に私をはじめまだまだ知識の浅いこともあって国際奉仕ロータリー財団の基本的な活動内容についてお話しさせていただきます。

タイトルにある「TRFの基本的なお話しのTRFは音楽ユニットではありません、The Rotary Foundationの略です」

◆卓話者

国際ロータリー第 2790 地区
補助金プロジェクト委員会
堀内正人委員長



テーマ

「TRF の基本的なお話
おいでよ地区委員会 Part2)」

1. 財団の歴史

ロータリー財団の正式名称は「The Rotary Foundation of Rotary International (国際ロータリーのロータリー財団)」、頭文字を取って「TRF」と呼称します。

1917年に6代目のRI会長であるアーチ・C・クランプの提唱により「ロータリー基金」として設立されました。最初に寄せられた寄付はカンザスシティRCからの26ドル50セントでした。1928年にロータリー財団へと名称を変更し、1929年には国際障がい児協会に初の補助金として500ドルを拠出しております。運営には長い間苦慮されたようですが、1947年のポール・P・ハリスの逝去に伴い寄せられた多額の寄付金(130万ドル以上)をきっかけにロータリー財団の規模は飛躍的に大きくなり、現在では12億ドルを超える資産を形成しております。

2. 財団の概要

(国際ロータリーとロータリー財団)

国際ロータリー(RI)とロータリー財団(TRF)という2つの組織が存在しております。2つは別個の組織であります。

RIは各ロータリークラブが加盟者であり、ロータリークラブに入会している人々をロータリアンといいます。RIはロータリアンがクラブを通じて納める人頭分担金で運営されております。

TRFはロータリーが奉仕活動に必要な資金をロータリアンから寄付金として集めて再分配をするための組織です。寄付金の運用益などで運営されております。

ロータリーから集まった寄付金をTRFが運用後に配分し、その資金でロータリーは様々な奉仕活動を行う、といった関係性です。両者はそれぞれ独立した組織ですが、掲げる使命は「世界理解、親善、平和の達成」と同じであり、理念上も実際上も一つのロータリーとして一致団結することで使命を果たすための強い土台を築いております。

なお、財務規模はTRFの方が遥かに大き

く、2021年6月期の収入は5億4,528万ドル、総資産は12億9,031万ドル(RIは収入1億567万ドル、総資産1億6,063万ドル)となっております。

3. ロータリー財団への寄付

TRFへの寄付は選択することができます(寄付分類)。年次基金寄付・恒久基金寄付・ポリオプラス・災害救援基金・冠名指定寄付などがあります。

「寄付ゼロクラブをなくそう」という話がよく出ておりますが、この場合の寄付とは「年次基金寄付額がゼロのクラブをなくそう」という意味であります。この年次基金寄付はTRFにより3年間資金運用され、元金を3年後に地区やクラブで使う(運用益はTRFの運営費)という寄付分類です。「シェアシステム」という仕組みにより配分され、地区補助金やグローバル補助金等の原資となります。

TRFへの寄付には各種表彰制度があり(PHF、BF、MD、PHS、AKS)、公財)、ロータリー日本財団を通じてのTRFへの寄付は全て日本の税制上の優遇措置の対象となります。

なお、RID2790では一人当たり150ドル以上の年次基金寄付、30ドル以上のポリオプラスへの寄付を目標としております。

4. 寄付金の使われ方(補助金の活用)

寄付金の使途としてTRFの掲げるプログラムはポリオプラス、補助金(GGとDG)、平和フェローシップとなっております。

- ① ポリオプラスポリオ根絶のための取り組みはロータリーの最優先項目とされております。1985年に世界に先立ってRIが開始しました。ポリオウイルスは治療法が無いため予防接種により感染を防いでいくという取り組みです。昨年の8月にアフリカ大陸でのポリオ根絶がWHOにより認定されました。常在国はパキスタンとアフガニスタンの2か国となっております。
- ② 補助金
グローバル補助金(GG)と地区補助金(DG)の2種類があります。
GGは大規模(30000ドル以上)で長期(1年以上)の国際プロジェクトに使われます。
DGは比較的小規模で短期(1年以内)のプロジェクトです。国内でも海外事業でも可となっております。いずれも使用する場合は参加資格を得ることが必要で、MOUの提出、地区が主催する補助金管理セミナーへの出席が条件となっております。
- ③ ロータリー平和フェローシップ
次世代のグローバルな平和構築者を育成するための事業です。ロータリー平和センター提携大学(7校、日本では国際基督教大学)にて世界中で最大100名のフェローが学んでおります。卒業後は国連やNGOに勤務し、難民支援や紛争地、被災地での復興支援活動に携わっております。

◆点鐘 13時00分 渡邊慎司会長